工業会 JEAS通常総会・記念講演会を開催

「ロス対策・パラダイムシフト＊つながる心が生む新世界～協働防犯～」

工業会 日本万引防止システム協会（JEAS、稲本義範会長）は、6月7日に主婦会館プラザエフ（東京都千代田区）で、「ロス対策・パラダイムシフト＊つながる心が生む新世界～協働防犯～」をテーマに、令和6年度（第二十三期）通常総会を開催した。

同工業会は万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために以下の活動を行うとしている。①万引防止システムの円滑な普及、発展に資する制度・政策・計画等を建議し、実行する②行政機関、関連団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整を行う③万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とした活動を行う。

第1部の総会は開会の辞の後、稲本会長が挨拶した。

会長挨拶の要旨は次の通り。皆さまのおかげをもちまして、当協会は設立23年を迎えます。3点ほど説明させていただきます。ひとつ目は、通常総会議案書の表紙の写真ですが、これは昨年の総会後翌日に撮ったもので嵐の中、線状降水帯の下、雨にも負けず、風にも負けず、筑波山に行った際の写真です。本当にやっと我々コロナ禍を抜けたんだなっていう喜びをみんなで分かち合って、協会そして業界を盛り立てていこうという思いでした。

そのときの合言葉なんですが、ロス対策・パラダイムシフト＊、つながる心が生む新世界～協働防犯～。頑張っていこうとそれを合言葉に1年がんばってきました。

おかげで新たにこの4月の入会も含めて9社に入会いただいて、今、64社となっております。本当にみんな頑張ってくれたのでそのおかげでこの協会は成り立っていると思います。

2つ目ですけど、その努力は単に規模の拡大を目指すとか、会員数を増やすとか、そういうことはうちの議案書には一切入っていません。この4つの検定制度、ここにあるように、AIなどを活用した良い製品を広めるための推薦製品検定制度、良い顔認証システムの認定制度、それを活用するための科学保安員検定制度、セルフレジ不正対策マニュアル作りも全レジメーカーに協力してもらいました。それに加えて、個人情報の漏えいをしないような廃棄の仕方とか転売の仕方などに力点を置いてやってきました。我々の基準がこの日本、ある意味、世界の基準になるということで緊張感を持って行った1年でもありました。

3つ目はJEASは毎月、勉強会やセミナーを行っています。やらなかった月は無いです。さらには情報交流やビジネスマッチングも積極的に行っています。そんな機会を積極的に行ったおかげで、会員間の関係性が強まり、新たなソリューションが続々と生み出されております。そのベースになるのは、諸先輩方より学んだ技術です。この総会では先輩諸氏の職業専門家を工業会認定の職業専門委員に初めて認定します。その現場を支え続けた職業専門家には、人々の安全安心のため、脱法思考を排除し、官民で基準を作り、その順守を全うしようとする「永劫の使命」が宿ります。現場力と現場発信力があるからこそ皆さんの作業が成り立ってきたし、逆にそれを忘れたときに検査不正とか、それが起こる確率は高くなります。

そういうことがわが協会で、業界で起こらないように「永劫の使命」を心に持って進めていきたいと思います。なおこの8月発出予定のJEAS個人情報保護指針第4版にはこの「永劫の使命」が織り込まれる予定となっております。

今まで申し述べてきた諸活動に感謝し、その恩送りとして、先輩方、社会からの恩も含めて8月2日に「電波ってすごい！ ゲルマニウムラジオ手作りセミナー」を開催します。我々こういうものを作りながら技術というものを学んできました。子供たち20名ほどとこの電源不要の永遠に聴こえるラジオ製作での言い知れぬ感動を共有したいと思います。その体験を通し、電波利用や科学技術への興味を深めてもらいたいと願っております。

このように我々工業会、JEASは、産業的・社会的役割を確かな形で次の時代へと紡いでまいります。日本小売業協会の野本弘文会長と昨日お話しして、アジア太平洋地域の小売業大会が来年2月10日にあると。その中でやはり各国のロス対策とかアスピレーションをやらなければという話の話題があがりまして小売業協会の中でもそういう意見も出てきている日本もやっていかなければという話で盛り上がりまして、来年の大会に我々も日本小売業協会に協力するような形で世界の方々に輪を築いていきたいと思っております。我々工業会　JAESは次の時代に向けて進めてまいります。今日はどうもありがとうございます。

◇

続いて。通常総会の議長に稲本会長が選出された。

第1号議案は令和5年度事業報告、収支決算の件。第2号議案は職業専門員制度の発出。第3号議案は令和6年度組織・人事の件。第4号議案は令和6年度事業計画、収支予算の件で、いずれも満場一致で承認された。続いて、新役員挨拶、新会員への会員証授与、記念写真と執り行われた。

新役員挨拶、新会員で紹介されたのは次の方々。リアルネットワークス　斎藤大治氏、GeoVision　周采穎氏、日本NCRコマース　井上謙二氏（正会員）セーフィー　佐伯穂高様氏、（賛助会員）パトライト　奥田雅大氏、（同）アスタリスク　鈴木規之氏。

◇

続いて、2023年万引防止システムの市場規模の報告があった。

次に感謝状贈呈が執り行われた。贈呈されたのは次の方々。

パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスリスクマネージメント本部危機管理部部長後藤信明氏、ミネ医薬品常務取締役　富澤勇氏、アイアンドティテック代表取締役社長　田口秀勝氏、店舗プランニング代表取締役　飛永泰男氏。

来賓挨拶で総務省総合通信基盤局電波部電波環境課課長補佐の水井健太氏が次のように述べた。

本日、通常総会が盛会に行われましたこと、大変お慶び申し上げます。携帯電話は5Gになりました。ますます身の回りの電波の利用はどんどん進んでいきますし、身の回りのところでは無線設備、無線機の数もどんどん増えていく状況でございます。こういった状況でその無線機器の性能向上はもちろん大事なんですが、それに加えて電波の安全性、電波が安心して使える、こういった環境を整えていくことも、ますます重要になっています。

総務省では、いわゆる科学的な根拠をもとに電波の安全性の基準である電波防護指針を作っておりますし、また電波の医学的、生物的な影響に関する研究開発も行っており、その普及啓発も行っています。JEASは盗難防止の機器で適正なものにJEASのステッカーを貼る取り組みを早期に始めていただいております。私も買い物に行くとよく見かけます。これによって、例えばペースメーカーの方も、ここは電波が出ているということがわかりまして、安心安全な電波環境の実現に大変JEASは貢献していただいていると思っております。

特に電波の安全性に関する取り組みを、業界を挙げて率先してそこから取り組んでいただく建設的な例だと思っております。稲本会長からも、冒頭の挨拶で出てきましたけれども、脱法思考を排除して、官民連携して進めていくとこういった使命をお持ちだとおっしゃったんですけれども、こういった取り組みを進めていただいてるJEASに敬意を表します。

先ほど稲本会長がゲルマニウムラジオ手作りセミナーの開催について話されましたが、私も大学時代に鉱石ラジオを作りまして、電池が無いのに音が聞こえると、すごくそのときの感動を覚えております。

電波、通信のまさにこういう啓発にも、大変ご尽力いただきまして、ありがたく思っております。

◇

第2部記念講演会での講演1は「私だってできるロス分析方法」（ミネ医薬品常務取締役 富澤勇氏）、講演2は「〝塀の中のおばあさん〟の取材で感じたこと」（読売新聞社東京本社 編集委員　猪熊律子さん）が行った。来賓挨拶を個人情報保護委員会事務局企画官の大星光弘氏が行った。

第3部意見交換会では、来賓挨拶を経済産業省商務・情報政策局情報産業課課長補佐の籠寛之氏、国土交通省鉄道局総務課危機管理室危機管理室室長の坪原和洋氏が行った。

◇

◇令和5年度事業の概要（抜粋）

みなさまのお蔭を持ちまして6月2日で設立23年目を迎えます。JEASは平成30年には経済産業省よりEASと防犯カメラ分野の工業会認定を受け、令和2年9月に個人情報保護委員会認定の認定個人情報保護団体となり、万引防止システム関連に従事するあらゆる企業が参画する総会員数62法人が参加する産業団体に成長しております。

万引の特性としては、高齢者の常習万引、セルフレジ不正の顕在化、組織的万引で高額被害事案が増加するなど、万引犯罪の複雑化、国際化、悪質化がますます目立ってきています。

①その対策に向けて、進化する顔認証システムを活用した第33回科学保安講習会を昨年11月に開催しました。科学保安講習会では、当工業会が認定した顔認証システムの実践的活用方法に加え、個人情報保護法遵守を強化しました。

②DX推進プロジェクトでは、国内外の主要レジメーカーのご協力を得てセルフレジ不正防止のための冊子を7月に発行し、被害の多い各スーパーマーケット協会などへの提供、さらには各地で研修会を開催しました。用語が統一なれた冊子には6つの不正事例・顔認証・声掛け・情報共有・法的な内容が含まれており、この瞬間も多くの小売業の現場で活用されております。

③顔認証システムの法的見解が示されている個人情報保護委員会作成の「犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用についてリーフレット」及び「民間事業者向けカメラと個人情報保護法パンフレット」のセミナー昨年10月と12月に開催し、システム安全利用に努めました。新たな防犯ニーズに対応するため国土交通省等のご指導をいただきながら「交通機関と関連店舗の保安強化プロジェクト」を発足させました。今後も安全・安心ために向けたつながりの輪を構築して参ります。

◇

◇令和6年度事業計画（項目のみ記載）

万引撲滅・ロス対策を通して、犯罪に強い持続的社会の実現に向けてJEASの役割を果たそう！

防犯民主主義実現の旗の下、EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会として、「万引犯罪をさせない店舗作り」の推進を通じて、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止や高齢者等の孤立防止、さらにはプライバシーへの配慮という産業的、社会的役割を果たすべく活動して参ります。

①工業会 日本万引防止システム協会の認知度UPのためユーザー団体様や関係機関との連携強化並びに会員増強

②万引防止システムの理解を深めていただくための広報活動

③万引防止システムの知識向上のための研修

④無人店舗などのDX推進とLP両立のための調査

⑤機器の信頼性アップのための対策推進

⑥解除器の盗品流通防止活動

⑦万引防止システム関係に係る関係法令対策活動

⑧業界発展を目的とした調査、提案等の活動

⑨所轄官庁はじめ関連諸団体との連携強化。

JEASの通常総会のもよう（提供写真）